

(様式1)

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで いきたい項 目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	『大地に触れ外気（太陽）を浴びる、閉じこもりによるストレスの開放』……ストレスを溜めない工夫（例えば、行事等を多く取り入れる事により地域交流を始め他の方々と時間共有を通じ自分らしさを見つけていただく等）	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	最低月一回以上、全体会議やチームカンファレンスを行っており、この場で理念の実践に向けて取り組方等を検討している。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	玄関入口の掲示板にいつでも見られるように掲示している。また、面会時等には出来るだけコミュニケーションを蜜にする様努めている。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	各種行事には出来るだけ家族や地域の方の参加を呼びかけて、共に行動することにより理解を深めるよう工夫している。	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	施設長は、地元自治会々員である為、集会や各種行事には積極的に参加して地域との交流に努めている。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで いきたい項 目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている</p>	○	<p>ホームでのガーデニング、家庭菜園等、新鮮なアイデアや提案をいただいています。本会議は、違った角度からの意見等を聞くことが出来き、地域密着を推進する良い機会であると考えています。</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>		<p>職場内外での会議等で、研修の場をつくり意識向上に努めている。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで いきたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	説明するに当たって出来るだけ、専門用語・略語等を避ける様心掛けて、理解して頂き易いよう説明している。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者とのコミュニケーションを常に十分として、遠慮の要らない生活・話し合いが出来るムードづくりに心掛けている。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月月初に『ふるさと便り』を送付して、生活状況・健康状態・行事等を報告している。またこの報告書には写真も添付しているので目で見て確認出来る様にしている。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様との連絡は常に密にして、コミュニケーションを十分とり、遠慮の要らない話し合いが出来るムードづくりに心掛けている。	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	最低月一回以上全体会議及びチームカンファレンスを行って、この場で職員からの意見や提案について出席者全員で検討している。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	如何なる事情があっても入居者様に迷惑をかけることない様、当然考慮しなければならない事として職員間の協調性を話し合い臨機応変に対処している。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで いきたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	当ホームは基本的には、全員が全入居者の状態を把握し、いつでも誰にでも即対応出来る様に指導している。従って異動による影響はありません。行事等全員で行動する時、或は緊急時等共に協力を必要とする時、私は担当でないから解らないでは責任ある対処がとれない。		
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的な内部研修は勿論、外部研修にも積極的に参加させている。また上位資格の取得を推進している。		
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	当ホーム職員研修の為、老人保健施設等と現場相互研修の話を進めており近く実現する予定であります。		
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	各種行事の後の慰労会や定期的な懇親会等を行って、労を労う事により職員間空気は非常に良い。		
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	どんな些細なことでも報告出来るような、風通しの良い職場環境づくりに専念している。この結果各人の意識レベルも向上しており、今後も継続する事により、その人の持つ隠れた才能を伸ばして行きたい。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで いきたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	誰でもそうであるが、最初は知らない環境に戸惑いなかなか心を開かないのが普通である。従って本人との接する時間を可能な限り多く確保して、若い時の話等して共通点を見つけコミュニケーションを密にすることで、自然と心を開くようになり信頼関係が出来てくる。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	項目23と同様コミュニケーションを深めることで解決できると考えている。	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族と言えども、入居者本人の状態を正しく把握出来ていないケースもあるので、先ず本人の状態を把握すべく努力した上で、家族の意見も考慮して話し合い本人に最も必要とするサービスを決めている。	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	項目26と同様、ご家族様の意向等コミュニケーションを密にして、入居者様に安心していただき信頼関係を築くように心掛けている。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	いつの時点でも、また何をする時でも常に入居者様を中心として考え行動し、ストレスを溜めないように工夫している。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで いきたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族とのコミュニケーションは常に蜜にすべく、ホームからの情報は面会の都度・『ふるさと便り』を通じて・或は電話等にて報告し、また家族さんの希望、ご意見等を聞いて入居者にとって最善と思われる方策でもって対処している。		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族との関係を重視して、原則として面会時間を設けたりせず深夜を除いて自由としている。また行事等には出来るだけ家族の参加を呼びかけている。		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	項目29と同様、家族以外の親戚・知人等の面会も自由に行っている。		
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	お互いの昔の話に意気投合したり、その中に職員が参加したりして輪を作るよう心がけている。また、洗濯物を仕分けたり、たたんだり一緒に行動して助け合っている。		
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所後と言えども家族からの相談等あればアドバイスに応じているし、また来所も自由である。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで いきたい項 目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	各人利用者のレベルが同一でない為、その人に応じた対応をしている。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	基本的な事で先ず最初に、本人の生き立ちや生活歴や病歴等について可能な範囲知った上でないと、適切な介護支援は出来ないと考えている。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	項目34と同様、先ず本人を知った上で対処することが重要と考えている。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人の認知度・心身の状況・健康状態・家族の希望等を総合的に判断してケース会議等で話し合い作成している。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	その時々々の状況に応じた対応が出来るよう、キメ細かく観察の上家族さんとも相談して随時対処している。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで いきたい項 目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>		<p>生活歴を生かせる様に、キッチンに利用者が気軽に入ることが出来一緒に食事を作ったり、部屋から芝生に出て外気欲を楽しんだり、お食事したりしている、外での食事は美味しいと好評である。また、菜園では収穫を楽しみにして作業を手伝って貰ったりしている。</p>
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>		<p>地域自治会からの回覧で、地元小学校で行はれる防火・防災訓練に2～3名の参加を予定しています。</p>
41	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>		<p>他施設ケアマネジャーとは空き情報の交換等、入居先を探しているご家族等の相談に活用しています。</p>
42	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>		<p>地域包括支援センターより、『センターで協力出来ることはいつでも相談して下さい』とさせて頂いています。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで いきたい項 目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	<p>終末期ケアは、当ホームでは初めてのケースであり、今後もこの事例を参考に取組んでゆきたいと考えています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで いきたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>		
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>		
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで いきたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	特に指定がない利用者には、月一回の訪問理・美容を利用して、身だしなみやおしゃれができるように支援している。また本人の望む店に行きたいと言う人にはその様に対応している。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備、片付け、食器洗い等手伝って貰い、食事は職員と一緒に並んで食べている。春・秋の気候の良い時期には、芝生の上で外気を受けながらの食事は非常に好評である。また毎月レストラン等へ外食会に行ってメニューや雰囲気を楽しんだりしている。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒やタバコを好まれる方はないが飲み物やおやつなど好みを聞き提供している。なお渡ローカに喫煙所を設けている。(以前タバコを吸う方がいた)	
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を作成して排泄の有無を確認している。また時間が間に合わなくて失敗することを少なくする為、各居室全てに水洗トイレを設置している。	
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	体調不良等なければ、入浴は原則毎日入っている。また本人の希望や体調によってはシャワー浴や足浴に変えたりして対応している。	
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	利用者各人の生活習慣等を考慮して、安心して眠れるよう日々検討し実行している。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで いきたい項 目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物を分けて畳んだり、食事の後の洗い物を手伝って貰ったりして、過去の生活歴を活かした支援を取り入れている。	
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者各人の認知症の程度により、本人で管理可能な人は本人が管理している。また買い物を頼まれたりした場合代行もしている。管理が難しい人はホームで立替えており殆ど必要とする事はない。	
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	気候のよい日中は各居室の吐き出し窓をあけて、自由に芝生に出られるようにしている。また外気浴を兼ねて気分転換の為、周辺を散歩に行っている。	
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族との外出はいつでも自由に認めて支援している。またホームとしては最低月一回以上行事として外出の機会を設けている。	
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	各人の残存能力に差があるので、一律ではないが出来る人にはそれなりの支援をしている。 (例えば、電話の番号呼出を代行したり、郵便物の投函を代行したり……等)	


項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで いきたい項 目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
64	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>		
(4)安心と安全を支える支援			
65	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>		
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		<p>外部よりの侵入者に対しての安全対策を考えると玄関の鍵は必要と考える。(入居者が出たい時はいつでも出られる状態を作っている。家族にも説明している。) 当ホームは端から端まで動線が50m以上あり心理的圧迫感はなく、勿論居室は一切鍵は掛けていない。また最近、留守でなくても鍵を掛けている家庭が多くなっている。特にマンション、アパートについては100%と言っても過言ではない。近年田舎でも用心が悪くなっており、新聞・TVで毎日の様に不可解な事件が報道されている。万一事故が起こった場合誰が責任取ってくれるのか?。言っている意味は理解しているが一面からだけ見て評価するのは如何なものか?。</p>
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		<p>その人夫々がレベルが違うため、その人に応じた対応を検討している。(例えば、ベッドの上に立って吊戸棚の物を取ろうとする人には、ベッドの位置を変えることにより転倒の危険を解決した等)</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで いきたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで いきたい項 目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者一人ひとりの投薬一覧表を作り、日付、個人ごとに分け、職員が管理し、服薬介助・見守りを行っている。		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便表、一日毎の水分摂取表を作り、排便の有無・水分摂取量の確認をし、また毎日ラジオ体操を行うことで予防対策をしている。また、食物繊維を中心とした食材選び・調理の工夫をしている。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、口腔ケアを行い夜間、義歯を外される時には洗浄液につける等工夫をしている。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者個々人の状態に応じた食事の提供、水分摂取表で水分摂取量の確認、週ごとの献立表を作成し、カロリー過多にならないように栄養バランスも考慮している。		
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症予防マニュアルを作り、手洗い・マスクの装着等、徹底している。毎年インフルエンザの予防接種も行い、また衛生面でも消毒・熱処理した食事など行っている。また各居室の入口及びトイレ等主要部分に消毒液を設置している。		
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	週数回に分け、より鮮度の高い食材を買い、まな板の消毒・手袋の装着・また熱処理した食事の提供を徹底している。週に一回以上、冷蔵庫のチェック・清掃を行い、古い食材を残さないようメニューの工夫も行っている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで いきたい項 目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	四季折々の花や木を植え、親しみやすい環境にしている。	
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間には季節に合った花や木などを生け、ソファの設置、また利用者の要望を取り入れ居心地が良い空間作りに取り組んでいる。	
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	外の景色が見渡せる窓辺にイスを置き、一人になれるスペースを設け、またソファは複数で座れるようになっているため気の合う利用者同士で過ごさせている。	
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居以前に使用していた馴染みの物など、本人の要望を踏まえた上で、危険が伴う物以外は原則として持ち込み自由とし居心地よく生活できるような工夫をしている。	
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	各居室に換気扇、空調を付け、空調の調整も利用者各人が行えるようにし、また定期的に職員が確認しています。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで いきたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室、フローアには手すりを付け、また居室内のトイレにも手すりをつけ、自立した生活が送れるようにしている。またシルバーカーや歩行器等の補助具も自由に使用出来る様にしている。	
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	残存機能を活かすために手すりの設置、表札の工夫、花やリボン等の目印をつけて自室を覚え易くする工夫等日々検討し、また本人の要望も考慮し、混乱や失敗を無くすようにしている。	
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物の外回りには花や木を植え、またベランダには芝生を引き個々人が活動しやすいように考慮している。	

( 部分は外部評価との共通評価項目です)